

令和4年7月26日

大津町議会議長 桐原 則雄 様

大津町議会議員 山本 富二夫

### 自 己 研 修 成 果 報 告 書

大津町議会議員の自己研修に関する実施要綱第4条により、先に実施した研修について、次のとおり成果を報告します。

#### 記

1. 研修日時

令和4年7月18日～20日

2. 研修先

南相馬市	2度の地震での復興と現在
郡山市	農業政策課 議会事務局
いわき市	就労継続支援B型 なこそ授産所
福島県	福島原子力発電所

3. 研修目的

南相馬市	2011年3月11日地震の現在と2021年福島沖地震の現在
郡山市	農業政策課 新規就農・移住促進 (ガイドブック・事例集)
いわき市	重症者から軽症者などの施設を見学
福島県	福島原子力発電所の現状

4. 成果(具体的に)

別紙のとおり

自己研修報告書

氏名 山本富二夫 

視察研修名	令和4年7月 自己研修報告書
視 察 先	① 福島県郡山市
	② 福島県いわき市
	③ 福島県浪江町
	④ 福島県南相馬市
期 日	令和4年7月18日(月)～7月20日(水)
研修テーマ	① 郡山市 新規就農・移住促進へ
	② いわき市 40年前位の創設で重症者から軽症者の施設
	③ 浪江町 11年目の原発事故後の今の姿
	④ 南相馬市 2011年原発事故後と2021年地震の現在
	⑤
研修報告 意見・感想	① 令和4年7月19日午前9時30分に郡山市市役所の
	農業政策課 農業経営・アグリテック推進係の松本主査と
	電話での数回の打ち合わせをしていたので、農業政策課に
	伺い意見交換をしていたら、和泉課長と遠藤係長も同席頂き
	トカイなイナカ郡山で開拓者になろうをスローガンに市内外

研修報告	から新規就農者を積極的に動いて受け入れておられる。
意見・感想	郡山市の印象は町全体が活気があり、新幹線駅を見て大きく
	バスセンターも併設して市役所も近くて便利だと思う。
	今回はコロナ対策の為に、市役所内での説明を受けたが
	新規就農には、就農に必要な技術・知識を学べる研修制度
	「こおりやま園芸カレッジ」があり、1年間研修を受けること
	がいき、時間をかけて技術の習得ができ、農業相談会を開催し
	1人前の農業者に育てられているのが新規就農の定着につながる
	大事な取り組みだと感じた。郡山市の担当者が最後まで1人前
	の農業者にするという、意気込みを感じた。
	郡山市には農産物直売所が14ヵ所あり、今回は一番大型の
	直売所 愛情館 (写真1) 6台のレジ係があり、生産者の
	名前記入の農産物が品数も多く販売をされていた。
	2件目の直売所 あぐりあ (写真2) レジは3台稼働していて
	生産者朝取りの新鮮野菜が数多く販売をされていた。
	あぐりあの直売所で熊本県産デコポンゼリーが販売をされてい
	たのには、さすがに驚いた。(写真3)

<p>研修報告</p> <p>意見・感想</p>	<p>コロナ禍の為に、直接 新規就農者と話し合えなかったのが</p>
	<p>心残りである。</p>
	<p>② いわき市 7月19日午後2時に特定非営利活動法人</p>
	<p>なそこ授産所(写真4)を訪問した。重症者から軽症者まで</p>
	<p>受け入れて(写真5)家族的な雰囲気の中で1日を過ごし、又</p>
	<p>40年近くの施設であり、それぞれスタッフと一緒に軽仕事を</p>
	<p>されている姿を通し、人は皆仕事をする事で、生き甲斐が</p>
	<p>生まれると思って訪問をおえた。</p>
	<p>③ 浪江町 7月19日午後4時頃なそこ授産所の訪問を終わり</p>
	<p>国道6号線を南相馬市に向かって浪江町の国道沿いの現状を</p>
	<p>車内から、見たが原発事故当時の状況そのままの状態であり</p>
	<p>建設重機は展示された状態だし、各住宅は雑草が茂って</p>
	<p>いなければ、人が住んでいる様な住宅であったので、いかに</p>
<p>原発事故での放射能被害の恐ろしさを直に感じた。(写真6)</p>	
<p>地震での事故ではあるが、原発事故の恐ろしさを再確認した。</p>	

<p>研修報告 意見・感想</p>	<p>④ 南相馬市も、原発事故での汚染で私が見た感じでは6割の</p>
	<p>水田には水稲栽培がされているが、いたるところで今でも</p>
	<p>地表面を20cm剥ぎ取り、汚染されていない土壌との交換が</p>
	<p>(写真7) 今も工事を進めておられた。水田の汚染除去は</p>
	<p>後、何年かかるのかわからないし、完全に耕作放棄地も今後</p>
	<p>農業者の高齢化も進み出てくると感じた。</p>
	<p>2021年福島沖地震は(写真8)一部損壊の屋根工事が見られたが</p>
	<p>南相馬市だけの地震被害かと思っていて、現地の瓦職人さんに</p>
	<p>尋ねたら福島県東部地域の広範囲の地震被害の発生がみられる</p>
	<p>まだ、後1年以上の工事受注を受けているとの事でした。</p>
	<p>テレビやその他情報での現地視察でしたが、被害の大きさに</p>
	<p>やっぱり現場を見ないと現状がハーク出来ないと思う。</p>

# 福島県郡山市農林部

郡山市農林部

次長兼農業政策課長

(JA連携推進担当)(農商工連携推進統括副担当)

(セーフコミュニティ・SDGs推進担当) ASAKAMAI 887

(食品ロス削減推進担当)

和泉 伸雄



“日本一おいしい”  
7つの独自基準を満たす  
究極の郡山ブランド米

〒963-8601 福島県郡山市朝日一丁目23番7号

本庁舎1階

TEL (024) 924-2201

FAX (024) 938-3150

E-mail: izumi-nobuo-a@city.koriyama.lg.jp



郡山市 農林部 農業政策課

主任技査 兼 農業経営・法人・アグリテック推進係長

えん どう たか し  
遠 藤 和 志

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号

TEL: 024-924-2201

FAX: 024-938-3150

E-mail: endou-takasi-c@city.koriyama.lg.jp



郡山 あさか舞 検定



郡山市農林部農業政策課

農業経営・アグリテック推進係

主査 松本和弘

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23-7

TEL(024)924-2201 FAX(024)938-3150

E-mail: nougyouseisaku@city.koriyama.lg.jp



郡山 あさか舞 検定

# 自己研修報告書写真

1.



2.



3.

権利の都合上、掲載できません。  
ご了承ください。

# 自己研修報告書写真

4.



5.

権利の都合上、掲載できません。  
ご了承ください。

6.





# 自己研修報告書写真

7.



8.

